東京五輪とホテル

久しぶりに大阪市立中央図書館で東京新聞をチェックしていると、7 月 24 日朝刊 1 面の記事に驚いた。抜粋して紹介したい。

五輪中ボランティア悲鳴？
都内ホテル代高騰
組織委4万室を確保・部屋不足の懸念も
TOKYO 東京 2020
開幕まで1年
強気6倍
民泊攻勢
3分の2割れ「よかっ
五輪期間中の都内のホテル料金例
新宿・ビジネス 1万1000円 6万7000円
汐留・ビジネス 1万4000円 6万7000円
銀座・ビジネス 1万5000円 9万2000円
赤坂・カプセル 3000円 1万4000円

リードから―東京五輪期間中の東京都内のホテル料金が高騰している。開会式が行われる来年 7 月 24 日は、通常の 6 倍という強気の価格設定も。大会まであと 1 年。地方から訪れる家族連れ、ボランティアらは、寝床の確保に悩むことになりそうだ。

「1 人 1 泊 6 万 7 千円から。返金不可」。インターネットのホテル予約サイトで来年 7 月 24 日を調べると、東京・新宿のビジネスホテルがこんな条件で売り出していた。

同じホテルの今年の同時期価格は 1 万 1 千円。ホテル側は「大手ホテルの予約受け付けが始まっておらず、適正価格が読めない」と事情を語る。

現在、予約サイトで募集しているのは、比較的小規模なビジネスホテルなどが中心。組織委が関係者用に大規模なホテルチェーンなどの計 4 万 6 千室を仮押さえしているため、これらのホテルでは予約受付を先延ばししている。

東京都は 2013 年の招致時、選手村から 50 ㌔圏内にホテル 14 万室があると計算し、「五輪のためのホテル建設は必要ない」と公表した。しかし、訪日外国人数の急伸などもあり、みずほ総研は昨秋、来年 8 月に都内で最大 1 万 4 千室が足りなくなる可能性があると分析した。

愛知県碧南市の公務員加藤和彦さん(46)は、埼玉スタジアムで行われるサッカー男子 3 位決定戦を家族 4 人で観戦予定。「ここまで高額とは想定外。交通費も含めて旅費がすごいことになってしまう」と嘆く。

活動条件が「10 日以上」のボランティアに応募している長崎市の大学生荒木美月さん(19)も「採用されても、ホテルに泊まるのは難しい。都内の知人に泊めてもらえるように頼むしかない」と不安がった。

記事はこのあと民泊について触れているが、それにしても都内ホテル代高騰は異常だ。五輪期間中は、東京に出張などしても宿泊できないのでは。五輪「騒動」は至る所に。

(2019 年 8 月 25 日)